

●低燃費化

パワーユニットの開発にあたっては、低燃費化を図るため燃焼効率向上とフリクション低減技術を投入しました。

燃焼効率に関しては、燃焼室形状を2バルブ/バスタブ型から4バルブ/ペントルーフ型に変更し、インレットポート形状の最適化を図りシリンダー内にタンブル流を形成させることで、燃焼効率の向上を図っています。

フリクション低減では、エキゾースト側にローラーロッカーアームを採用、また、ピストンスカートにモリブデンコーティングを施しました。

これらの低燃費化技術と併せ、燃料タンク容量を従来より4L減らした21Lとすることによる軽量コンパクト化への寄与、完成車重量の低減により、60km/h定地燃費値で7km/L向上させ、従来同等の航続距離を確保しました。

■シリンダー内タンブル流イメージ図

